

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金に係る効果検証(令和5年度実績)

交付対象事業名
消防局庁舎ネットワーク改修事業

部局名	消防局
担当課	総務課
担当者	加藤
電話	098-867-0119

実施計画NO	単独・補助	事業始期	事業終期	総事業費 [円]	うち交付金 [円]	
21	単独	R5. 9. 1	R6. 2. 29	1, 050, 236	1, 050, 000	
市基本方針との関係		経済対策との関係		交付対象事業の区分		
(1) 感染拡大防止策の推進		⑤-IV-1. ウィズコロナ下での感染症対応の強化		通常交付金		
事業の概要				目標(指標)	目標値	単位
①目的・効果 職員の接触や密集を避け、新型コロナウイルス感染症による職場内クラスターの発生リスクを下げることで、防火防災能力の機能を維持することを目的とする。 ②交付金を充当する経費内容 有線ネットワークにて整備している業務用ネットワークにアクセスポイントを設置し無線ネットワークに改修するとともに、オンライン会議用のディスプレイを整備する。				職場内クラスター	0	件
実績、効果等				検証(成果)	実績	単位
・事業完了後、新型コロナウイルス感染症による職場内クラスターや集団感染は発生しなかった。				職場内クラスター	0	件
事業に対する団体等からの意見及び事業に係る課題等						
・無線ネットワークに改修したことによって、ノートパソコンを利用して自分のデスク以外の場所でも業務することが可能となり、新型コロナウイルス感染症の蔓延期にあった、無症状の濃厚接触者なども業務を継続できる環境を整えることができた。 ・無線ネットワーク環境が整ったことにより、会議等にノートパソコンを使用できるため、副次的な効果だが紙資料の削減に繋がった。						
事業に対する改善等の検証						
・新型コロナウイルス感染症は5類感染症となり、感染症対応強化に対する意識が薄らいでいるが、今後も鳥インフルエンザや未知のウイルス感染症等流行の可能性は否定できず、無線ネットワーク改修事業により、職場内クラスターの発生リスクを下げる環境ができたことは良かった。この環境をより効果的にするために、現在一部にだけ配置されているノートパソコンを全職員に配置することが必要になってくる。						